



# 大町市が進める教職員の働き方改革の概要

KiraJo

大町市立学校業務改善ポリシー（H30.3策定）～ 未来を育む ひとが輝く きらり輝く学校をめざして～

## 教職員の働き方改革の背景

### ■学校が抱える教育課題が複雑化・困難化

- ⇒ 新学習指導要領の確実な実施（教育内容・学習活動の量的・質的増加）
- ⇒ グローバル化、情報化への対応
- ⇒ 特別な支援を要する児童生徒数の増加 …など

### ■学校に求められる役割は広範で拡大・多様化

- ⇒ 保護者対応の増加
- ⇒ 説明責任の増大
- ⇒ 通学路の安全確保
- ⇒ 地域活動への対応 …など

### ■家庭・地域の環境変化

- ⇒ 地域コミュニティの衰退
- ⇒ 共働き世帯や一人親世帯の増加
- ⇒ 家庭・地域の教育力の低下…など

▼勤務の長時間化

▼教職員の時間的・精神的負担感

▼学校だけでは解決できない課題の増加

## 取組の柱

## 具体的な取組

即時対応事項 中長期的対応事項

### ◆「勤務時間」を意識した働き方の推進

- ◇勤務時間の「見える化」

ICカードを利用した正確な勤務実態の把握

勤務時間の割振りの着実な運用

### ◆教職員の意識改革

- ◇自身のワークライフバランスを意識した働き方への変革

働き方改革に係る研修の実施

タイムマネジメント力の向上とスキルアップ

### ◆業務の削減や分業化、協業化

- ◇学校・教員が担う業務の明確化・適正化
- ◇部活動指導の負担軽減
- ◇学校徴収金業務からの解放
- ◇地域・行政によるサポート体制の構築

業務の洗い出しと仕分け

市依頼事業の削減と精選、見直し

コミュニティスクール等、地域サポート体制の充実

部活動指導員等、地域人材の活用・育成

競技ごとの学校合同チームによる活動

総合型地域スポーツクラブへの移行

給食費の公会計化

学年費等の徴収・管理業務への行政支援

### ◆業務の効率化、情報化

- ◇ICTの有効な利活用

統合型校務支援システムの導入

ICTを活用した授業実践の推進

### ◆学校の業務環境の改善

- ◇総合的なサポート体制の構築

時間外の電話は留守番電話等に対応

長期休業期間の学校閉庁日の設定

人的・財政的措置と制度の見直し

## 重点目標

- 1 時間外勤務時間が年間を通して1ヵ月45時間以下、年間で最も忙しい時期については上限80時間以下（小学校は70時間以下）を目指します。
- 2 緊急または学校行事等、やむを得ない場合を除き、午後8時までに退勤。

子どもや保護者にもメリットがある業務改善

## 基本テーマ

教職員の本来業務の質的向上と子どもと向き合う時間の確保を図り、ワークライフバランスを意識した働き方の実現

大町市の基本理念

郷土や文化に誇りを持ち 心から地域を愛する子どもを育てる

現状

基本的な方針

目標

# 公立小中学校における 働き方改革のための共同メッセージ

長野県教育委員会は、長時間勤務となっている教員の働き方を改善し、子どもたちにとって、最も大切である授業の質を高め充実させるために、「学校における働き方改革推進のための基本方針」を策定しました。

市町村教育委員会では、県教育委員会の基本方針を踏まえ、教員が授業づくりや子どもたちの指導に専念できる環境を整えるための方針を定め、各学校がその実態に応じた業務改善に組織的に取り組むことができるように連携体制を構築します。

県PTA連合会では、家庭と学校と地域が果たす役割を再確認するとともに、保護者と教職員が学び合い、しっかりとスクラムを組み、厚い信頼関係を基盤として、地域ぐるみで子どもを育むために、学校における働き方改革を応援します。

基本方針において、全県で一斉に取り組むこととしている時間外の留守番電話での対応や、長期休業中の閉庁、また、部活動の活動基準の徹底や教員以外の方が顧問となる部活動の実施等、いずれも保護者や県民の皆様のご理解とご協力なくしては進めることができません。

県教育委員会、市町村教育委員会、県PTA連合会は、学校における働き方改革は喫緊の課題と認識し、三者で連携して、保護者や県民の皆様のご理解を得ながら取組を進めてまいります。

平成 29 年 11 月 20 日

長野県教育委員会  
長野県市町村教育委員会連絡協議会  
長野県PTA連合会